

子どもの名前

2020年の第1位は「蒼（そう）くん」と「陽葵（ひまり）ちゃん」…。

毎年、年末になるとこんなニュースが流れてきます。これは、明治安田生命という会社が毎年発表している、「子どもの名前ランキング」です。この会社はとても大きな保険会社です。保険会社のお客さんは、子どもが生まれると、その子どもの誕生日や名前を保険会社に知らせます。この会社は、お客さんから聞いた子どもの名前を使って、名前のランキングを作っています。この保険会社では毎年1万7千人くらいの子どもの名前を調べているので、日本の名前の流行が少しわかると言われていています。

日本では、「ひらがな」「カタカナ」「漢字」のどれかを使って名前をつけることができます。例えば「けん」、「ケン」、「健」などです。また、「はな子」「リョウ太」のように、違う種類の字を合わせて使うこともできます。「ひらがな」と「カタカナ」はすべての文字を使うことができますが、「漢字」については特別なルールがあって法律で、「人の名前に使ってはいけない漢字」が決められています。例えば「死」「嘘」「尻」などの漢字は、名前に使ってはいけません。

名前に使う漢字の読み方についてはルールがありません。「空」と書いて、「そら」と読む名前をつけることもできますし、「空」と書いて「スカイ」と読む名

前をつけることもできます。

明治安田生命の「子どもの名前ランキング」を見ると、名前の流行は時代とともに変わっていることがわかります。以前は映画やドラマの主人公、そして活躍したスポーツ選手の名前などが人気だったようです。最近では、「樹」や「海」、太陽の「太」や「陽」など、自然に関係がある漢字が人気のようです。

どんな時代でも、名前は、親から子どもへの最初のプレゼントです。毎日忙しく生活している現代の親たちは、子どもにはのびのびと育ててほしい、自然を楽しみながら生きていってほしい、などと願っているのかもしれないね。

(807 字)

(2021.6 Written by Junko SATO)

<参考資料>

- ・「明治安田生命」ウェブサイト「【恒例】明治安田生命の生まれ年別の名前調査 名前のランキング 2020」

<https://www.meijiyasuda.co.jp/sp/enjoy/ranking/index.html>

- ・「法務省」ウェブサイト「子の名に使える漢字」

<http://www.moj.go.jp/MINJI/minji86.html>



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use

this work, please indicate the source as in the example above.